

## ボランティア委員会

リアン人材バンクの確立を目指し、福祉施設や地域での活動受容とマッチングさせ、市民の社会参加活動を促進します！

委員会ではボランティアをクラウドで一斉管理をしています。活躍してくれる方々の知識・スキル等の資源を活かして利用者の生活の質の向上に貢献してもらう場をコーディネートしています。ボランティアは「コミュニティパートナー」と位置付けて8つの領域に分けた56のメニューを設け、短時間からでも参加しやすいメニューを取り揃えました。文京総合福祉センターを利用する子育て家族、シニア、障害者、児童、地域住民など地域社会で生活するすべての人々と共生社会の街づくりを目指しています。

お互いの「互助」を大切に、地域の活性化と交流が盛んに行われることに繋がるよう「絆社会」に向け、ボランティア活動の拠点の一つとして地域貢献をしていくためのシステムを作り、引き続きまいります。



ボランティアは受け身だけでは集まりません。いかに魅力的な活動であるかをホームページやフェイスブックを通じてアウトリーチ、リアンから地域との協働を実践していくことが大切です。皆様、一緒に地域の活性化にご協力下さい！

## 今月の紹介したい人

園芸講師 原田聖也先生

今月は園芸講師の原田聖也先生をご紹介したいと思います。

①講師をしていてよかったこと・嬉しかったことは何ですか？  
「みんなで種をまいて苗を植え、収穫して笑顔が見えた時です」  
②リアンで園芸講師を行うきっかけを教えてください。  
「他の園芸活動をしていて、リアンからお誘いを受けたのがきっかけです。」

③これから目指していることや目標は何ですか？  
「植物を育てることを通じて、その植物にも自分（人間）と同じように生命があることを感じてもらいたいです」

④障害を持つ方との関わりを通して感じることは何ですか？  
「人としての本質を感じ、喜怒哀楽、体調の良し悪しなどピュアに感情を表現していることに、時としてうらやましく思うことがあり、素直、正直の大切さを感じます」

原田先生、ありがとうございます。今後も園芸のことたくさん教えてください。

## 山本有樹の好きな「ものづくり」

山本さんはルームシューズや服など、布を使った「ものづくり」が好きなようです。とつても可愛らしいですね。きっかけは、大島恵の園で勤務していた頃にミシンをもらったのがはじまりなんだそうです。「何か趣味を」と思っていたところにミシンをゲット…まさに運命の出会い！

そんな山本さん、行きつけのお店があるそうです。それは、吉祥寺の「ユザワヤ」という大型の生地屋さんです。布の種類が豊富ですばらしいと山本さん大絶賛でした。吉祥寺自体も素敵な街で、ユザワヤ以外にもおすすめるお店がたくさんあるそうです。山本さんにおすすめるスポット聞きたいですね。



ぶんちゃんが行く！  
近日、リアンHPにて  
動画公開☆

# 9月気楽1日



## 密着！！

アピールポイント

明るく！楽しく！

ゆったり過ごせる場所！

短期入所事業とは・・・

地域に暮らす障がい者の支援として、本人またはその介護にあたる方の事情により在宅生活が一時的に困難になった時や介護者の介護疲れを軽減することを目的に、一時的に障がい者施設である当施設に入所し生活支援を提供するサービスです。また、自立生活に向けた体験を重ねることもできます。



## スケジュール



- 8:30 出勤・申送り  
利用状況打合せ  
退所者書類・荷物確認
- 9:00 退所居室掃除  
入所居室ベッドメイキング
- 10:00 利用者退所手続き  
利用調整・新規契約（インテーク）
- 11:30 昼食
- 13:00 休憩
- 14:00 利用者入所手続き
- 15:00 お茶・おやつ  
事務作業
- 16:00 入浴
- 17:00 書類整理・翌日手続きの準備
- 17:30 夕食  
退勤



## 人気の秘密

- 気楽がなぜリピート率が高いのか？  
自由度が高いため、利用者が自由に過ごせる。集団生活ではあるが、個々のライフスタイルに沿った生活が出来る

## インタビューを通して

気楽職員の方は、利用する人が「きらく（気楽）」に使えるような場所に思えるような雰囲気作りを心がけているとのことでした。

実際、インタビュー中に外出から戻ってきた利用者の方に、あたたかい声かけをみて、自宅にかえって来た時のような温かみを感じました。

また職員の方たちをみていると、気楽ファミリーといった感じの家族のような温かみを感じました。この人柄が、リピーターが多いことに繋がっているのかなと感じました。

